

伊万里 市議会だより

第23号

平成19年
(2007年)

10月



「伝えたい魂 ^{こころ} 継なぐ夢」(伊万里太鼓25周年記念公演)

9月補正額： 7億2,236万円
予算総額：205億6,190万円
(対前年度同期 +6億4,625万円、+3.2%)

特集

- ★ 西部広域ごみ処理計画
- ★ 新病院建設へ向けて

平成19年伊万里市議会第3回定例会 会 期 日 程

9月

開議時刻 午前10時

| 日 | 種 別 | 内 容 |
|-------|-----|---|
| 3(月) | 本会議 | 開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等24件 …… 一括上程 市長提出議案等の提案理由説明 |
| 5(水) | 本会議 | 議案等に対する質疑 |
| 6(木) | 本会議 | 議案等に対する質疑 決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託 |
| 7(金) | 休 会 | 特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策) |
| 10(月) | 休 会 | 特別委員会(地域医療整備対策) |
| 11(火) | 本会議 | 一般市政に対する質問 |
| 12(水) | 本会議 | 一般市政に対する質問 |
| 13(木) | 本会議 | 一般市政に対する質問 |
| 14(金) | 休 会 | 常任委員会 |
| 18(火) | 休 会 | 常任委員会 |
| 19(水) | 休 会 | 正副委員長会 |
| 21(金) | 本会議 | 市長提出追加議案等9件・・・上程 市長提出追加議案等の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案1件、意見書1件・・・上程 決議案等に対する議案 決議案に討論、採決 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉 会 |

議会ホットコーナー

「第4工水」建設事業 本格始動へ!!

第4工業用水道事業は、平成21年7月からの供用開始となっています。

9月4日現地にて、多くの関係者出席のもと安全祈願祭が行われ刈初めの儀、鍬入れの儀が無事に終了。

挨拶の中で、この大事業の難工事を工期内に完成させ、将来の伊万里市発展につなげたいとの熱い意気込みが披露されました。

また、SUMCOからの30億円の分担金が了解され、その徴収条例も整備されています。

あとの残額は、全体事業費から国庫補助金及び企業分担金を除いた分について、県と市が50%づつとする確認書が締結される運びとなっています。

更に国庫補助の確保については、経済産業省から、財務省に対する20年度概算要求で、13億5,200万円が盛り込まれたとの朗報も入っています



定例会会期日程など

議案質疑

■ 県委託金

質問 県からの委託で「新障害者プラン」中間見直しのために障害者の実態及び福祉ニーズ調査予算が計上されているが、伊万里市では身体障害者107名、知的障害者35名を対象とするとの説明を受けた。①数的根拠は何か。②精神障害者は調査しないのか。③障害者のニーズは個別に差異があり、このような方法で正確に把握できるか疑問である。

■ 答弁 市民部長

①身体障害者のうち3・8%に当たる1500名、知的障害者のうち7%に当たる500名を抽出して調査するよう県が計画。県全体の対象者を按分した数である。②プライバシー保護の観点から、病院等に直接委託すると聞いている。③時間・費用等の問題から、抽出調査で止むを得ないとの結果になったものと思う。在宅か施設かの区分や年齢区分も設定されており、より実態に近い調査になるものと考えている。

特集 西部広域ごみ処理計画

毎日の暮らしの中で、ごみ処理は、重大な問題のひとつです。黒川町立目にある環境センターは、築後25年が経過。老朽化も進み、地元黒川町の皆さんに多大なご理解ご協力を頂き、市民から排出されるごみの処理を行っています。

ダイオキシン対策などが厳しくなる中、平成9年、国（当時の厚生省）は新ガイドラインで「ごみ処理施設の広域化」を示し、これを受けて県レベルで広域化計画を策定。佐賀県内は4ブロックに分けられ、伊万里市は西部ブロックに属します。

ブロック区割りの基本方針 （「佐賀県ごみ処理広域化計画」より）

- (1)施設整備（予定）時期が近い施設であること。
- (2)処理対象区域が隣接していること。
- (3)処理能力が100トン／日以上で、できるだけ大規模な組み合わせとなること。
- (4)既存の一部事務組合の構成市町及び現在広域化に向けた協議を行っている市町においては、同じブロックとする。

現況

- ・ 現在、西部ブロックには3ヶ所の焼却場がある。

| | 建設年次 |
|------|-------------|
| 伊万里市 | 昭和57（1982）年 |
| 有田町 | 平成7（1995）年 |
| 杵藤地区 | 平成元（1989）年 |

⇒もし単独で作るなら、国からの交付金が受けられない
そのため、経費に億単位の差が出る見込み

最近の経過

平成19年

- ・ 2月西部ブロックごみ処理広域化推進協議会 決定事項
 - ①一部事務組合による共同処理とする
 - ②平成19年7月に一部事務組合を設置する
 - ③建設目標を平成26（2014）年度とする
- ・ 3月議会 西部広域環境組合設置議案可決
- ・ 3月末 県知事へ、組合設置許可申請
- ・ 7月 環境組合発足 事務局は伊万里市に設置
（管理者：伊万里市長、副管理者：武雄市長）

今後の予定

- ・ 用地選定 各市町からの候補地（8ha以上）抽出を依頼
 - ⇒8月17日 構成市町長会 「伊万里市にお願いしたい」
 - 9月27日 「 塚部市長「市内に候補地を挙げることができる」
 - 10月9日 西部広域環境組合議会議員協議会にて協議・承認
（伊万里市からの組合議員：副市長、副議長、文教厚生委員長）
 - ・ 廃棄物処理施設建設は20年に一度程度の事業であり、市町職員に専門ノウハウがないため、期間条件付きで発注者支援業務方式を導入し、施設整備構想・ごみ処理基本計画・循環型社会形成地域計画を策定する（平成19～20年度）。その後については再協議。
 - ・ 策定された計画を基に、具体的な内容について組合議会で協議。
- ※組合議会は原則公開です。日程等は市ホームページなどでお知らせします。



特集 新病院建設へ向けて

特集
新病院建設へ向けて

伊万里市民病院と有田共立病院の統合へ向けた具体的な協議が始まっています。これまでも第20号で特集を組み、この地区の公的3病院の状況をお示ししてきました。

今回は、位置決定の報告と、今後の協議へ向けての組織と方向性についてお知らせします。

建設予定地…有田町二ノ瀬地区 約25,000㎡

《経過》

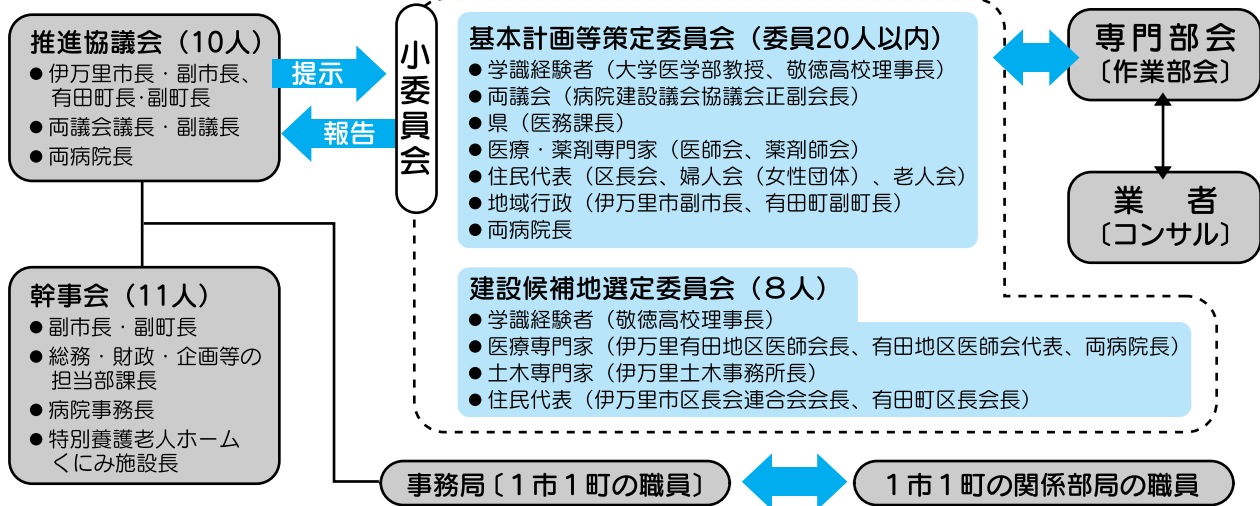
- ・建設候補地選定委員会で3回の協議と現地視察
- ・伊万里市内4ヶ所、有田町内5ヶ所から2ヶ所に絞る
- ・地元の理解を得て、決定

《選定理由》

- ・鉄道、道路などの交通アクセスが良い
(将来的には有田と伊万里を結ぶセラミック道路が近くを通る予定)
- ・周りに民家が少ない。療養環境として良好
- ・造成コストが低く抑えられる

新病院の将来像

- ・西部保健医療圏の基幹病院として、地域医療支援病院及び災害拠点病院を目指す
- ・がん等に対応する高度医療の充実を図る
- ・救急医療・小児医療の充実と24時間対応を目指す
- ・生活習慣病を中心とした予防・健診の充実を図る
- ・病床数は200床以上を目指す



当面の協議

①基本計画策定

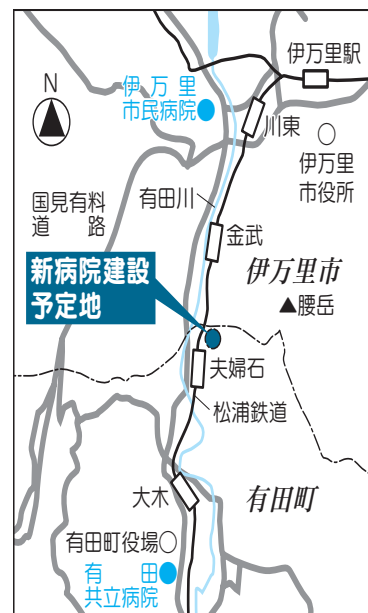
- ・現在、コンサルタントに委託して基本計画策定中
- ↓
- ・随時、計画案を策定委員会に諮る
- ↓
- ・今年度中に基本計画を完成させる

診療圏・患者実態の把握、病床数、診療機能・科目、医師数、看護師数、医療機器、収支計画、敷地内での配置など

②一部事務組合の設置

- ・複数の自治体が経営するため、一部事務組合を設置する必要がある。現存の「特別養護老人ホームくみに」の組合を活用する
- ・施設整備、管理運営に関して、どのような負担割合とするのが焦点となる

均等割、人口割、病床割、地域割、利用割などが想定される



総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された条例議案7件、補正予算議案1件について慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

消防団条例については、現在初期出動の体制問題、地域と連携した組織作り、事故が発生した場合、団員への補償問題等課題は多い。又国は目標数を設置し、防災市民組織を構成しようとしているが、社会状況の変化に伴い両立は難しく、そこで市は予算の増額と団員の確保に徹底するようとの意見が出された。

補正予算議案の市民活動支援センター整備事業については、今後50を越す市民団体が利用した場合、主たる運営母体の存在、責任管理体制はどの様になっているのか、又利用頻度が増した場合、今のスペースで十分に団体の要望に答えられるか疑問視する声もあった。

地域の元気推進事業については全国の事例が示されたが伊万里市の現状に合った独自の

方向性を見出すことが必要となってくる。既に市内各地では類似した健康推進事業に取り組んでおり、現事業との混乱が生じてくるのではないかとの意見もあった。

伊万里アジアネットワーク事業については、焼き物用ガス釜の設置が大連海洋大学内に計画されているが、伊万里市側の全額補助事業ということ、海洋系大学との焼き物の整合性の説明について一部疑問の声もありましたが、単に一過性で終わることなく、この事業を基盤とし、両市の友好的文化事業拡大の為に永久に努力する様申し入れをした所である。



交流する大連海事大学

◎笠原 義久 ○樋渡 雅純
前田 教一 多久島 繁 松永 孝三
船津 賢次 前田 久年 下平 美代

文教厚生委員会

★所管 市民部(保健・福祉・環境・人権同和)、教育委員会、市民病院

付託された一般議案1件、予算議案4件について、慎重審査の結果、「公民館駐車場の塗装工事等公共施設の整備については、本来、市の財源で行うべきものである。寄付を財源に充てる場合においては、一定の基準を設け計画的に実施されるよう望む」の要望を付し、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

一般会計補正予算の主なものは、民生費において、ごみ処理広域化推進事業で負担金が追加されるものです。今回、基本計画及び処分施設の基本構想を策定するもので、今後の西部広域環境組合の協議に十分注目したいと思えます。

教育費では、中学校耐震診断業務委託料の追加がありました。これは、昭和56年に建築基準法の改正があり耐震基準が強化されたが、それ以前の建築分についての診断調査が行わ

れるものです。

調査結果では、補強、あるいは改築等が指摘されることになっています。

また、公民館管理運営事業では、各種の事業実施にあたっては、やむを得ない寄付に頼ることは例外として、本来、市の財源で対応すべきとの強い意見がありました。

特別会計の補正は、国民健康保険、介護保険および老人保健のそれぞれの18年度決算に伴う清算金の整理となっています。



建設中の国見中学校屋内運動場

◎岩橋 紀行 ○山崎 秀明
占野 秀男 高木 久彦 島田 布弘
田中 啓三 福田 喜一 盛 泰子

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました条例議案一件、一般条例2件、及び補正予算議案と決算議案3件について審査の結果、次の要望を付し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。小規模土地改良事業について、他事業の活用も図られ、また予算確保の努力も認めるものの、事業費上限の縮減等がこれ以上進むことが無いように要望いたしました。

農業経営が厳しい中「伊万里市担い手農地高度化促進事業」分担金徴収条例については国から交付金で賄うとの説明があったが、県市の補助は無く、利益を受ける者から分担金を徴収する事が、本来の制度では考えられない、また集落営農の団体は7地区全てにおいて、本事業に取り組むよう要望しました。

市民と考える交通システム整備事業については、交通弱者の交通手段の確保を目的に「市民と考える交通システム会議(仮称)」を設置し、新たな地域交通のあり方を協議します。

いまり秋祭り事業については、10月20日(土)に「光と音と市民総参加と歴史」をテーマで開催されます、けんか祭り「トンテント

ン」は奉賛会の協議で今年は中止と報告を受けました、中山間地域総合整備事業がH19年度～H24年度までの6ヵ年間の事業で伊万里西部(二里町・東山代町・山代町)地区で事業が行われます。事業の内容は、用排水路整備、農道整備、集落道、飲雑用水施設となっています。



完成した波多津漁港埋立地

◎前田儀三郎 ○渡邊 英洋
松尾 雅宏 松尾 博幸 草野 謙
堀 良夫 内山 泰宏 浜野 義則

議会運営委員会

7月25日から1泊2日で、大阪府高槻市議会、奈良県生駒市議会を訪問し、議会運営について研修しました。

高槻市議会では、議案審査を先行し、討論採決後に一般質問を行うこと、3月議会では補正予算を先決することなど、伊万里市議会とは異なる議会運営をされていました。また生駒市議会では委員会への委員外議員の傍聴が多く、発言も多いとのことでした。

両議会とも、これまでに議会改革を進めておられますが、とくに高槻市議会では今年度から「議会改革検討委員会」を設置。市民と議会の関係、理事者(執行部)と議会の関係、議会内部の改革の3部会で検討を開始されています。

また生駒市議会では、公務多忙の中、議長さんの同席を得て、質問にも答えて頂き、中身の濃い議論ができました。

今回の研修で得た改革事項の中で、伊万里市議会でもすぐに取り入れられる事項として、以下のことを議長に提言しています。

現在、議案は執行部職員が議員宅まで届けている。

行政改革により、職員を減員している状況にもあることから、宅配をやめ、議員が各自、議会事務局で受け取ることにする。

全員協議会で賛否両論あったことから、議運で再協議することとしています。

◎盛 泰子 ○前田 久年 松永 孝三
松尾 博幸 船津 賢次 内山 泰宏
岩橋 紀行 田中 啓三 浜野 義則

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1 西九州自動車道設備について

①唐津・伊万里道路

延長18.1km 唐津 I Cから北波多から I C、谷口 I Cそして伊万里東 I C迄の区間については用地買収、松浦川橋梁工事、養母田トンネル工事が着々と進んでいます。(I C名仮称)

②伊万里道路

延長6.6km 伊万里東 I Cから伊万里中 I Cを通り伊万里西 I Cを結ぶ区間は路線測量及び道路設計に着手されています。

③伊万里、松浦道路

延長、17.2km 伊万里西 I Cから楠久 I C、山代 I Cそして今福、松浦迄の区間についても用地調査と一部では用地買収も始まりました。

③伊万里、松浦、平戸市議会による西九州自動車道促進協議会の活動について

8月30日に、佐賀・長崎両県の知事・議会及び国道事務所に対し要望活動を行った。唐津～伊万里道については、唐津地区に目途がつき今後は伊万里地区となる。国に対し強く予算獲得を行う必要があるとのことであり、委員会でも両県選出の国会議員に対し要望を行う予定である。

2 港湾設備について

臨港道路久原・瀬戸線については本年4月牧島側の4車線が供用開始された。又、七ツ島工業団地の多目的国際コンテナターミナル整備については、-13m岸壁・2バースの整備が行われており、今年にはケーソン1函製作・3函据え付けが予定され平成22年度完了を予定されている。又、久原北区航路の-10m浚渫も引き続き行われており港湾機能の強化が図られている。

3 企業誘致について

本年4月から8月迄に、企業訪問等による立地勧奨は延べ10社、立地企業に対するフォローアップは延べ107社への訪問が行

われており、将来に期待を伺わずものである。又、本年7月伊万里・武雄地区地域産業活性化協議会の基本計画が、国から第1号の同意を受けて、自動車・造船・半導体関連産業についての人材育成・技術支援・地方交付税の特例措置等が期待され、平成23年度迄に新規立地等10件・新規雇用200人が目標とされている。

4 先進地視察

①山口県下関市（下関港設備）

下関港は日本最大の国際フェリー基地であると共に、コンテナ取扱量は輸出入4万TEUを超えている。尚、これ迄の関門航路の通過による水先案内の必要性や潮流の影響を避ける為、現在は長州出島整備計画が進められてる。

②福岡県行橋市（企業誘致）

同市の電気機械器具製造業の歴史的背景及び近年の北部九州地域への自動車関連産業の集積により、この二業種を中心とした*第一次サプライヤー誘致を目指し、既存の稲童工業団地の拠点化を図ると共に即応出来る大型工業団地造成の必要性があるとの説明を受けた。



工事中の養母田トンネル

- ◎福田 喜一 ○松尾 雅宏 占野 秀男
- 山崎 秀明 樋渡 雅純 高木 久彦
- 島田 布弘

地域医療整備対策調査特別委員会

1.新病院建設の協議会等の経過について

3つの公的病院の統合を目指していたが、社会保険庁の改革案が現在、審議をされている途中で、今回は市民病院と共立病院の2病院の統合を先行して審議する事となった。

新病院建設場所は、候補地選定委員会を立ち上げ、その委員会が選定した2候補地について有田町長が有田町二ノ瀬地区に決定した

この建設地の決定理由として、交通の利便性が重要視された。

今後の計画として二者間の負担割合を9月中に決定し、早い段階で一部事務組合に移行したいとの説明を受けた。

2.新病院建設に向けて

平成21年4月の開院を目標に、負担割合を決定し一部事務組合を設置する事となっているが、負担割合については当委員会において重要な案件であり、慎重な議論が必要で9月中の決定は、早過ぎるという意見

や議会全体としてのまとめが重要であり、議員全員での情報共有と議論が必要であるといった様々な意見が出た。また3月までにコンサルタントに依頼して基本計画などが策定されているが地域住民が安心出来る医療体制を確立するための課題は多い。今後の協議について必ずしも開院目標に拘束されることなく将来に禍根を残す事のないよう十分な議論を尽くして頂きたい。また市民の声、医療現場の声を反映させ、これまでの経緯を市民に対し十分に説明していくよう努めて頂きたい。



新病院建設用地（長井手橋より）

◎草野 讓 ○多久島 繁 渡邊 英洋
堀 良夫 笠原 義久 前田義三郎
下平 美代

新病院建設 議会協議会

伊万里市民病院と有田共立病院の統合、新病院建設協議が進む中、両議会議員間でも本音の意見を出し合う場を、と今年の2月に正副議長、各常任委員長、議運委員長、特別委員長計14名で「病院建設議会協議会」（会長：伊万里市議会副議長）が発足、8月9日～10日の両日に大分県豊後大野市「公立おがた病院」と熊本県熊本市「済生会熊本病院」を視察しました。

「公立おがた病院」は、合併による新病院建設の経過と内容を、「済正会熊本病院」は経営内容と病院間の連携などを研修しました。

新病院は、交通の利便性を重視した。医師不足が続くので待遇や人権に配慮が必要。市民が求める総合病院では、医師や医療ス

タッフの確保と病院経営との関係が厳しいこと、★「総合医」の必要性を自治体から声を挙げることで、地域医療分担方式が必要で周辺病院との連携も考慮すべきこと、高度専門性を重視した病院作りなど、多くの課題とそれらに対する対応の厳しさなど、病院建設に必要な多くの参考意見を聴きました。



公立おがた病院 全景

一 般 質 問

(質問順)

一般質問事項

| 議員名 | 質問事項 | 議員名 | 質問事項 | |
|-----------------|--|-----------------|---|--|
| 岩橋 紀行 (一問一答) | 1. 七ツ島工業団地内のレシード油施設について 2. 水道事業について | 山崎 秀明 (一問一答) | 1. 屋外公共施設のトイレの改善について (1) 小中学校屋外および体育施設の改善対策について (2) 公園施設の改善対策について 2. 汚水処理環境の向上について (1) 企業における処理水の検査、指導について (2) 地域における汚水浄化の指導について 3. 小規模災害復旧支援事業の実施状況について (1) 地域別実施申請者状況と今後作業について (2) 既実施者に対する支援について | |
| 樋渡 雅純 (一問一答) | 1. 地域防災への充実・強化の為に (1) 防災協力事業所登録制度の推進 (2) 災害時情報の速やかな伝達 (3) 消防団協力事業所表示制度の推進 2. 児童虐待発生の予防について (1) 「生後4ヶ月までの全戸訪問事業」 (2) 「育児支援家庭訪問事業」 | | 堀 良夫 (一問一答) | 1. 西部ブロックごみ処理広域化計画について (1) 本市ごみ処理施設等の状況 (2) 広域化計画の取組み 2. 本市消防行政について (1) 消防団条例の改正と再編計画について (2) 県内消防広域化推進計画について |
| 浜野 義則 (一問一答) | 1. 国見台陸上競技場の公認更新について 2. 公的病院統合・建設について | | | 1. 道路網整備について 2. 防災対策について |
| 占野 秀男 (総括) | 1. スポーツ都市宣言の施設づくりについて 2. 生活道路の整備について 3. 議員定数削減に伴う経費の主な用途について | 渡邊 英洋 (一問一答) | 1. 放課後子どもプランの策定と放課後児童クラブの拡充 2. 公共施設浄化槽管理契約・業務について | |
| 松尾 雅宏 (一問一答) | 1. 果樹経営支援対策事業について 2. 担い手育成条件整備事業と地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業について 3. 集落経営体の法人化に向けての取り組み状況について | 松永 孝三 (一問一答) | 1. 大川内山に戸栗美術館の建設計画について 2. 「市民と考える交通システム整備事業」について 3. 寄付条例制定について | |
| 船津 賢次 (一問一答) | 1. いまりんバスの拡充など交通弱者対策について 2. 要介護者の障害者控除について 3. 生活保護行政について (1) 生活保護決定通知書(変更)には明細を (2) 保護者の転居の自由について (3) 車の保有について | 内山 泰宏 (一問一答) | 1. 各種補助金の見直しについて 2. 統合病院建設に向けての今後の協議について | |
| 盛 泰子 (一問一答) | 1. 市民との情報共有に向けて (1) 審議会等の公開 (2) 道路工事等の公開 2. 交通安全対策について (1) 通学路 (2) 伊万里駅周辺 3. 留守家庭児童クラブについて (1) 大規模クラブの分離 | 田中 啓三 (一問一答) | 1. 社会保険浦之崎病院に関しての市としての今後の考え方について 2. 浦之崎失効地に対する市の取り組み方について | |
| | | 多久島 繁 (一問一答) | | |

一般質問

七ツ島工業団地
内のレシード油
施設について

岩橋 紀行

質問 平成17年9月、18年3月と、過去二度にわたり質問し、県の対応、現地の原状回復を促してきた。しかし、施設完工（平成11年3月）以来、すでに8年の長期にわたり放置され、当市に十分な説明もなく、公共埠頭用地が有効活用できない上、赤錆で腐食した無残な姿で、工業団地のイメージダウンになっている。どうなっているのか。

答弁 産業部長

事務担当者レベルでは機会あるごとに県港湾課に出向いて状況を聞いているものの、問題解決への進展は見られない。県としては服役中の社長に撤去を強く要請し、それに応じなければ来年の夏頃と思われる社長の出所時期を待って行政代執行等の解決策を詰めてい

く考えである。

水道事業について

質問 水道は市民のライフラインであり、一日も欠かす事のできないもので、利用者の公正な利益と事業の健全な発展を図り、もつて住民の福祉に寄与するよう配慮してほしい。安定供給を確保して円滑なサービスの万全は期されているか。

答弁 水道部長

伊万里市は面積が広く、高低差もあり、また山間部に集落が点在するなど、地理的、地形的条件等により、必然的に投資効果が低い要因がある。しかし、現状では健全経営であると思われる。

質問 料金改定の考えは**答弁** 水道部長

その状況には至っていない。

「こんにちは
赤ちゃん事業」

樋渡 雅純

質問 市は児童虐待防止対策として、関係機関等で連携を図り、支援体制をとっているが、予防の観点からも対応する職員、母子保健推進員の更なる充実が必要。4か月までの早い時期に乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援へのアドバイスや、養育環境なども把握しながら、時間をかけて一人一人と向き合い母子共に支援する「全戸訪問事業」を早急に取り組むべきでは。

答弁 市長

全戸訪問事業に関して、子育てしやすい環境づくりを構築する観点から、訪問体制の充実などの課題を整え、又、課題を解決しながら、平成20年に一部開始し、平成21年には、全戸訪問をおこなっていききたい。

地域防災の充実

質問 災害時での地域防災の充実や強化のためには、これから地域の特徴、災害の規模や種類に応じて、事業所の強みを活かした行政と事業所との防災協力（防災協力事業所登録制度）が大事。その取り組みを重視する指摘もある。市の認識について伺う。

答弁 総務部長

県内では、登録制度はとっていないが、事実上、民間団体や関係機関と協定を結ぶなどして進められている。

市も緊急時には直接事業所の協力を得ている。幅広い協力を得るためには、今後どのような分野で、どのような協力をお願いできるか、災害時における連携強化のため、それを含め検討していききたい。

国見台陸上競技場の
公認・更新について

浜野 義則

質問 陸上競技場は伊万里市の中心体育施設であり、毎年陸上競技選手権や市民体育祭など、小学生から一般まで3万人以上の人が利用している

今年5年に1度の公認更新の年に当たる。第3種公認競技場として維持すべきだと考えるが市の考えと対応は。

答弁 市長 教育長 教育部長

国見台陸上競技場が果たしてきた役割や公認の必要性は理解しているが、公認を得るために多額の費用（700万円程度）が必要で財政的な理由から公認申請の1年延期をお願いしている。今後、関係者や協会等と施設・備品等の整備経費の削減方法等も協議しながら来年は公認申請が出来るよう努力していききたい。

公的病院の統合・建設について

質問 新病院建設は場所が決定し、具体的な協議に入るが今後のスケジュールと市の基本的な考えは。

答弁 市長 政策経営部長

現在病院の規模、診療科目、経営方法等についてコンサル委託を行っており、今後平行して負担割合等についても協議を進める。

今年度中に基本計画策定し平成21年4月開業を目標にしているが、時間的に少し厳しい気もする。

事業費の負担割合は重要な協議事項であり議会や市民の意見等を聞きながら対応していきたい。

職員等は全員新病院に移行することを基本とし、退職金等は退職時の清算や退職対策債等で協議していく。



スポーツ施設の整備と運営

占野 秀男

質問 昭和53年にスポーツ都市宣言をして以来、生涯スポーツの振興と国見台を中心に施設整備が図られてきた。

しかし時代の変遷と共に市民の意識変化や新しいスポーツの台頭、施設の老朽化などの課題も出てきている。

体育館も老朽化が進んでいる。全面改築の時期にあると思うがどうなのか。

市営プールも利用者の激減で閉鎖中だが、将来はどう考えているのか。

クレール射撃場も「閉鎖」の方向だがその理由が理解できない。鉛問題以降地元の不安心は理解できるが、廃止しなければならぬ程の問題は起きてない。スポーツ振興を取り組みながら一方で歴史ある施設を廃止するのは遺憾。

国のガイドラインが示さ

れた事や国際的なスポーツ施設有害鳥獣対策上も欠かせないことから慎重に判断すべき。

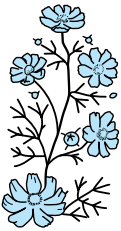
陸上競技場の3種登録は、財政難とはいえ相応の支出はすべきであると思うが。

答弁 教育長

体育館は県営の総合体育館を計画しているが現状では見通しが無く、市で検討していきたい。

プールも休暇センター利用者補助券を発行している。今後どうするか検討をしていきたい。

射撃場については、鉛問題のガイドラインが示されたことや国際的なスポーツとして世界中親しまれていること、有害鳥獣駆除など役割は大きいと受け止めている。しかし地元の要望もあり廃止の方向で関係者と協議中です。



果樹経営支援対策事業について

松尾 雅宏

質問 伊万里の農産物の中でも重要な品目である梨は、老木化により生産量が低下。若木への改植が進められているが、本事業では同一品種への改植は対象外。しかし、現在まで幸水に代わる品種はなく、今後、幸水から幸水への改植をどう進めていくのか。市の支援をどう行うのか。

答弁 産業部長 伊万里市を含め産地では、幸水が定着しており、これに代わる品種はないものと考えているので、強く国へ要望すると共に、国が該当しないのであれば県の単独事業でと要望している。

答弁 市長 大変重要な問題と考えており、例えば昭和幸水から平成幸水とか、どんな尻理屈をつけてでも国にお願いする。幸い岩永参議院議員も農林副大臣に就任されま

したし、県とともに国に対して強く要望していく。担い手条件整備事業と地域担い手経営基盤強化総合対策実験事業について

質問 今年まで担い手の機械整備事業として活用してきたが、国庫事業に変わっても市の義務負担は継続するのか。

答弁 産業部長

国庫事業に変われば13%補助率が下がる。品目横断が始まったばかりであり、混乱を起こさぬよう県の動向を見ながら国以外の支援も出来るよう努力する。

集落経営体の法人化に向けて

質問 6月議会後の取り組みは

答弁 産業部長・市長

集落営農推進研修大会を開催。今後も税理士等の専門家を招き5年を目標に出る経営体から取り組む。品目横断も、農地・水環境整備も、農地の荒廃による災害が起らないよう、農村の機能を維持し続けるため十分配慮していく。

一般質問

交通弱者対策
について

船津 賢次

なっているか。制度の周知徹底を。

答弁 総務部長

8月に要綱をつくった。勉強不足と情報収集不足で県内10市の中でも遅れたことを反省している。来年度の申告に向けて対象者全員にこの制度をお知らせする。

生活保護行政について

質問 ①生活保護決定(変更)通知書には明細の記入を。

②生活保護者の転居の自由について。③通勤用の車の保有は自立のためにも柔軟に対応すべきだし国にもその旨要望すべきだ。

答弁 市民部長

①早急に明細を表示し説明責任を果たしてゆきたい。②敷金の支給などのこともあり、転居の必要性等を判断して行いたい。③現在車の保有を認めているのは6件ある。車の必要性はわかるが、制度上の問題もある。国に対しては要望してゆきたい。

信号機の設置

盛 泰子

質問 市内の信号機待機箇所は12である。特に「あさひヶ丘入り口」は交通量が多い上に通学路でもあり、設置が急務である。

答弁 総務部長

指摘の場所は交通量や事故発生数などを客観的に指標化した優先順位で数年前から1位である。今年度は県全体の予算が14基分しかない。国道の拡幅工事が進行中のため、もうしばらく待つて欲しいとのことである。

答弁 市長

県内市長会からも各市に共通する問題として信号機の予算増を要望しているが、再度知事に強く働きかける。

通学路の安全対策

質問 古賀川に架かる山田

橋は幅員が狭く通学路として危険。拡幅する必要がある。

答弁 建設部長

古賀川は県河川であり、将来的には改修の予定がある。道路法線の変更が求められる、地権者の同意が必要となる。

留守家庭児童クラブ

質問 ①大坪クラブは定員オーバー。学校の配慮で教室を借りている。厚労省が児童の情緒面への配慮から、大規模クラブの分離を進める中で、計画性を持って取り組んでほしい。②東山代クラブも定員オーバー。現クラブの隣室を使えるようにできないか。指導員との意見交換を。

答弁 教育部長

①数年先の利用見込みも勘案し、対応を考えていく。②その部屋の利用については学校の同意を得ているが、改修の必要がある。利用者の推移を見定めたい。

屋外公共施設のトイレの改善について

山崎 秀明

質問 各種スポーツ行事等で使用する小・中学校屋外トイレ、体育施設及び公園施設トイレを水洗化、洋式化へ改善してほしい。

答弁 教育部長

施設箇所数を基にした水洗化率は小・中学校屋外トイレで87%、体育施設で69%となっている。また、洋式化は各々60%と24%。一部に洋式化への要望もあるので改善に努めたい。

汚水処理環境の向上について

質問 企業、市民に対する汚水処理の指導と、係る水質調査公表に解り易い説明を付けてほしい。又、抜打ち検査や地区役員の立合いなど実情の把握も必要ではないか。さらに環境調査の

要介護者の障害者控除について

質問 所得税法施行令などでは65歳以上で「障害者に準ずる者」は税金の障害者控除が受けられることになっている。伊万里市での取り組みの状況、実績はどう

答弁 市長 周辺部からの要望は十分に把握している。今年度中に「公共交通会議」での議論をまとめ、20年度中には一部実現したい。

一般質問

地区組織化のことも指導してほしい。

答弁 市民部長

企業の水質検査基準は、国県基準に上乘せ設定で、調査報告を義務化している。不定期調査も実施し、伊万里湾内及び、定点河川調査も環境月間に合わせ概要報告をしている。環境保全の推進は、区長委嘱の推進員活動と連携したい。

小規模災害復旧支援事業の実施状況について

質問 事業申請状況と今後の作業日程と、予算に余裕が生じれば既実施者の支援に回してほしい。

答弁 産業部長

全申請件数51件、事業費1655万円、9月末一次認可とする。既に実施された箇所については、個人復旧や工事費領収書等の問題もあり対応は困難と思われる。

ごみ処理広域化計画

掘 良夫

質問 佐賀県ごみ処理広域化計画への取り組み状況は。①現環境センターの状況②広域環境組合の状況③市長の見解は

答弁 市民部長

①近年のごみ処理量は、概ね横ばい状況だが、築後25年の環境センターは老朽化が著しい上、ごみ質の高カロリー化等の対応で能力が低下している。②昨年10月の、4市5町の推進協議会における広域処理への合意を受けて、本年7月に佐賀県西部環境組合が設置され、伊万里市長が組合管理者となった。平成27年度の稼働開始を目標とし、来年度迄に用地選定、ごみ処理基本計画等を策定。用地造成から施設建設を平成24年度から26年度までに行う予定である。

答弁 市長

本市環境センターの老朽

化は深刻な状況にあり、一日も早く新処理施設を建設し、市民に安心してもらうことが必要。新センター建設には約8haが必要とされ、議会の意見を聞きながら進めていきたい。

消防行政について

質問 消防団員定数改正①主要要因と②今後の再編計画。

答弁 消防長

①平成14年度に消防団より、定数を千2百人から千人に削減する計画が出され、協議を重ね、現在の実団員数や国民保護法指針による必要団員数を満たす千20人となった。②団員数確保や昼間の災害対応要員確保がしやすい組織再編が必要であり、昨年「消防団活性化計画」を策定した。

答弁 市長

消防団は地域防災の要であり感謝している。団員の処遇についても活動に支障がないよう配慮・検討したい。

道路網整備について

渡邊 英洋

質問 ①黒川く松島線バイパス建設の一期工事、伊万里津大橋から牧島小学校までの2.3kmの供用開始はいつ頃か。又、牧島小学校から先の都市計画変更に伴うルート発表はいつ頃か。②臨港道路七ツ島線建設計画の当初計画が発表されこれまで市としてどう取り組んできたのか。③県道297号（塩屋く大曲線）の大型車両増加で、地元住民は大変な危険を感じている。この様な現状を市民の安全確保の観点からどう考えるか。

答弁 市長・建設部長

①現在、伊万里津大橋から啓成中学校下までの400mが工事中で平成20年度末完成予定。この区間が完了次第、伊万里津大橋から牧島小学校間を供用開始。牧島小学校から先のルート

発表については、当初計画で黒塩地区の地すべり地帯を通ることになっており、計画変更が必要となり、県は慎重に検討中。又、国道204号は大雨の度に冠水の恐れがあるため、災害に強いバイパス建設を要望していきたい。②必要性は充分認識しており、これまで何回も要望活動を実施。現在はマイナス13m岸壁埠頭の整備が国の直轄事業でなされており、この道路建設については機会あることに要望活動をする。③大型車両増加は充分認識している。しかし県は横断歩道・歩道設置等、一応の整備は済んでいるとの考え。市としては今、県の公安委員会が行っている現地調査を基に更なる現状把握に努めた。黒川町区長会・交通安全対策協議会等、地元関係機関と連携し、すでに提出してある「追い越し禁止区間」や「速度制限区間」の設置等の要望事項を県に強く働きかけていく。

一般質問

放課後子どもプランの策定と放課後児童クラブの拡充

松永 孝三

質問 「放課後子どもプラン」の具体化にあたって。

答弁 教育部長
放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保。この事業の主旨を踏まえ、関係各課連携して具体的に進めて行く。

質問 「放課後子ども教室推進事業」の具体化と課題。

答弁 教育部長

今年度、「放課後児童クラブ」の開設されていない学校で実施している。実施することで、問題点を把握し、どのような連携が可能か協議していきたい。指導者の人材確保については、退職された先生方はじめ色々な分野で活躍されている方々に協力を広く呼びかけ、積極的に事業のPR

と共に、指導者の確保に努める。活動場として公民館の利用も考えていきたい。

公共施設浄化槽契約・業務について

質問 「合特法」に基づく、合理化計画案について。

答弁 建設部長・政策経営部長

合理化計画案は、今年度内に策定する。業者と協定書を締結をする。計画案は、市民にも閲覧できるように公表する。

質問 委託契約金が予定価格に対する落札価格が高すぎるの、どうしてなのか。

答弁 政策経営部長

委託契約は前年度実績などを参考に予定価格を決めたりするので予定価格と入札額、見積額が、同じになることはある。

戸栗美術館の建設について

内山 泰宏

質問 当初の計画については、大川内山方面に向かって左側(山手)に計画され、土地の売買も済んでいた。

しかし戸栗美術館側はこの場所が地すべりするのでないかと心配し伊万里市と幾度となく協議された。

その結果、現在の伊万里・有田焼伝統産業会館の場所でも戸栗美術館を建設し、ろくろ教室、絵付けなどの後継者育成などは戸栗美術館が購入した土地で行う新計画案が示された。

これについて、地元・窯元組合は情報提供されず、市主導で地元に関係なく進められてきたので市に中止を申し入れた。

17年の9月ごろ窯元役員は、山側の土地に戸栗美術館建設と、戸栗美術館の要望として10項目を口頭で聞いた。それに対して地元としての要望は調整されない

まま土地購入が先行した。その間、戸栗美術館側は幾度か大川内山を訪問されているが地元住民への挨拶などの接触は一度もない状態である。顔も見えない相手に対し、地元としては不快感を抱いておりそのことが今回の反対につながっている。

①地元反対後の戸栗美術館の対応はどうか。②今後の方向性について、市長の考えは。

答弁 政策経営部長

大川内山窯元が申し入れた翌日に、戸栗会長と会った状況説明。戸栗会長は「地元の意向を重要視しなければならぬ、反対であるなら伊万里・有田焼伝統産業会館での計画は断念しなければならぬ。しばらく静観したい」との意向である。

答弁 市長

「戸栗美術館が土地を購入されたところに戻って、そこでどのように戸栗側が展開されるのか、そこに尽きたのではないか」と思う。

補助金の見直しについて

田中 啓三

質問 補助金については、伊万里市行政改革大綱に基づき、又、社会経済情勢の変化により必要性、事業効果が薄いものは廃止すべきで、必要なものまで同様にカットされているように思われるが、団体等への補助金については、メリハリをつけた予算化が必要ではないか。

答弁 市長

補助金については、現在財政厳しい中、枠配分で予算化されているが、団体等への補助については、行政評価を実施し見直すところは見直し、ゼロベースで今は考えていきたい。

統合病院建設に向けての協議

質問 統合病院建設にあたっては、建設負担金・医師

一般質問

の確保・診療科目等、今後建設に向けて、どの様な協議を進めていかれるのか。

答弁 市長

現在市民病院にない診療科目の充実をはかり、地域の中核病院として市民のニーズに合った経営を目指したい。

又、負担金の問題についても有田町と今後、十分協議を行っていききたい。

社会保険浦之崎病院の今後について

多久島 繁

質問 伊万里の西端に位置する病院の果たす役割を、どう考えるか。

答弁 政策経営部長

国の病院として残る可能性もあるが、いつまでもこのままの状態でもいけないので、西部地区医療の必要性も含め、医師会等とも話し合いながら考えていく。

質問 病院統合枠から外れ、他県からの利用者が多い現状をふまえた当病院の置かれた立場を、どう考えるか。

答弁 市長

地理的に考えても存在感がある。存続してほしいし、存続に期待している。

質問 再度、社保庁に譲渡申請を行うのか。

答弁 政策経営部長

国の動向を見極め、西部

地区としての役割をふまえた話をしていく。

浦之崎失効地の取り組み方

質問 川南造船所跡地の開発に対する市の考え方。

答弁 政策経営部長

失効地の港湾計画は地元と協議しながら考えていきたい。

質問 権利者との話し合いの進み具合はどうか。

答弁 政策経営部長

今後は予算化して、手続きの為の接し方が必要だし、地元の考えを伝えていく。

質問 失効地に隣接する廃棄物処理用地の整備について

答弁 市長

航路浚渫土処理地としても、確保しておかないといけないが、今後の産業・工業用地として必要で、県へ用途変更を交渉し、県への働きかけをしていく。

決算審査特別委員会

●一般会計・特別会計

◎内山泰宏、○山崎秀明、松尾雅宏、多久島 繁、松永孝三、松尾博幸、島田布弘、笠原義久、盛 泰子

審査日程 11/2・5・6・7・12・(16)

●企業会計

◎高木久彦、○船津賢次、占野秀男、前田久年、草野 謙、樋渡雅純、前田儀三郎、福田喜一、浜野義則
審査日程 11/5・6・7

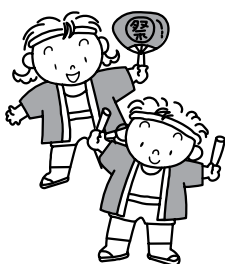
人権擁護委員

総数10人のうち、任期満了に伴う改選により、次の3名が承認されました
森戸妙子、野口勝美、馬場義行

お知らせ

供日が近づいてまいりましたが、公職選挙法の規定により、市長、議員は選挙区内の人に対して、酒食等を提供することは出来ません。

又、年賀状などの時候のご挨拶状も、頂いた賀状に対して表裏とも自筆で書いたもの以外は禁止されています。皆様のご理解をお願い申し上げます。



行政視察受け入れの状況（平成19年1月～8月）

| 月 | 来訪議会名 | 人数 | 視察項目 | |
|---|------------|----|-----------------------|---|
| 1 | 山口県周南市議会 | 3 | 学校給食センター | 会 |
| | 愛知県豊田市議会 | 3 | バイオスタウン構想 | 会 |
| 2 | 鳥取県米子市議会 | 10 | 補助金交付の見直し | 会 |
| | 宮崎県えびの市議会 | 7 | 畑の中のレストラン | 委 |
| | 大分県佐伯市議会 | 10 | 議会運営、議会改革 | 委 |
| | 山形県南陽市議会 | 6 | 21世紀ゆめづくり事業、パブリックコメント | 会 |
| 3 | 三重県名張市議会 | 6 | 食のまちづくり推進条例 | 会 |
| 5 | 愛媛県今治市議会 | 10 | 消防行政、防災行政 | 委 |
| | 山口県下関市議会 | 5 | 市民図書館 | 会 |
| | 宮崎県日向市議会 | 4 | 企業誘致（木材コンビナート） | 会 |
| | 北海道遠軽町議会 | 4 | 食のまちづくり、学校給食センター | 委 |
| 7 | 佐賀県嬉野市議会 | 5 | 地場産業への取り組み | 委 |
| | 山形県山形市議会 | 8 | 伝統的地場産業振興策 | 委 |
| | 京都府城陽市議会 | 13 | 議会改革 | 委 |
| | 宮城県名取市議会 | 5 | 伊万里駅前線整備事業 | 会 |
| | 広島県安芸高田市議会 | 9 | 伊万里はちがめプラン | 委 |
| 8 | 富山県魚津市議会 | 1 | いじめなし都市宣言 | 個 |

※ 人数は、議員のほか随行者も含まれます。

※ 「委」は委員会、「会」は会派「個」は個人での視察を意味します。

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています。



市議会議員研修会

8月20日、伊万里市民センターを会場に議長主催による研修会が開かれ、県内から多数集まりました。今回は政治ジャーナリスト末延吉正氏を迎え、「混迷する政治の舞台裏」の題で参議院の与野党逆転の緊張関係の中、戦後初めてといえる政策の論争がやれるかどうか、その期待を示しつつこれからの3～5年間は時代の方向を決める大事な時に入ったとの話がありました。

又、様々に流される情報(新聞、テレビ)を見、読み比べ情報に踊らされず事実はなにかを見切る力、読み取り判断する力を磨くこと。情報を取捨選択して活用する能力、メディアリテラシーの重要性を示し、これからの地方自治体に対しては、ムダはできない、生き残りをかけ知恵をしぼり身の丈に合った経営をする発想の転換を示されました。最後にジャーナリスト達の言葉にある「鳥の眼、虫の眼」を紹介しながら、「虫の眼」でもう一步近付いて本音がどうか見定める。大空を舞う鳥の如く「鳥の眼」で

大きく俯瞰して物事を見る。この両方が必要でみなさんの仕事も同じなのではないか等々、多くの示唆を頂く一日でした。

編集後記

今年の佐賀の9月の平均温度は、例年に比べ4℃近くも高く大変暑い日が続きました。

秋の気配が遠くに感じられさびしい思いと、温暖化が身近に迫っていることを痛感した9月でした。

今、高度医療を目指す市民、共立、二病院の統合に向けた協議も進んでいます。同時に広域でどうごみを共同処理していくか、西部広域環境組合での協議も進行中です。今回二つの課題について特集を組んでみました。皆様のご意見をお待ちしています。

◎樋渡雅純 ○山崎秀明
松尾雅宏 多久島繁
前田久年 渡邊英洋
顧問 占野秀男、盛泰子

発行

伊万里市議会
伊万里市立花町一三五五―一
☎0955-1231211
☎0955-2211277
E-mail: gikai@city.inari.jp

編集

市議会だより編集委員会
印刷 山口印刷株式会社